貸与施設運用上の注意事項

１．適用範囲

本件施工にあたって、浮標基地の貸与施設を使用するときは、この注意事項に従って、安全に作業を実施すること。

２．関係法令等の遵守

貸与施設を使用するときは、特に下記関係法令を遵守し労働災害防止に努めなければならない。

イ．労働安全衛生法　　（昭和 47．6．8 法律第 57 号）
ロ．労働安全衛生法施行令　（昭和 47．8．1 政令第 318 号）
ハ．労働安全衛生規則　　（昭和 47．9.30 省令第 32 号）
ニ．クレーン等安全規則　　（昭和 47．9.30 省令第 34 号）
ホ．浮標基地安全作業心得

３．有資格者

１５ｔ走行ジブクレーンを運転する者、玉掛け作業を行う者は、関係法令に定める有資格者とし、始業前に免許証等を監督職員に提示して確認を受けること。

４．慣熟運転

貸与施設を運転する者は、各施設の取扱説明書によりその性能について確認するほか、運転技能を慣熟しておくこと。

また、クレーン作業については運転手１名、玉掛及び合図者１名、振れ止め者１名以上の組作業とすること。

５．使用手続・報告等

クレーンを運転する場合は、浮標基地所定の申込書により使用許可を受けること。

請負業者の現場責任者と運転者の両者立会いの上、規定の点検を行い異常のないことを確認後使用すること。また終了時点検等の結果を使用申込書に記入の上報告し、運転日誌を記入すること。

６．浮標基地

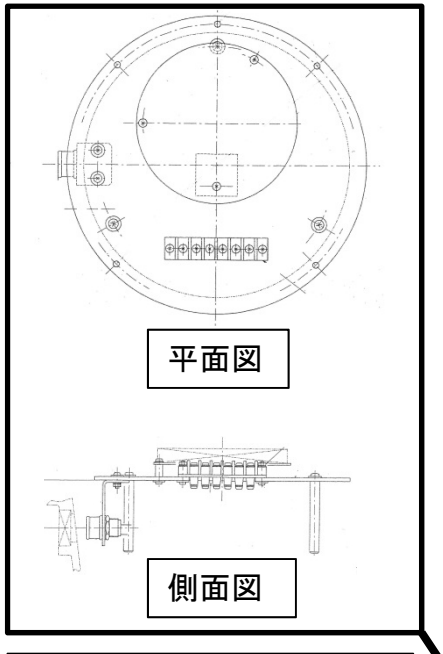
(1) 浮標基地に立ち入るとき、あるいは退出するときは、必ず浮標基地事務所に届ける。
(2) 標体は密閉性が高く、接地が不安定な状態で固定されているので、換気及び感電防止の対策を十分に施し、可動部の回転や脱落等による
人身事故に十分に注意して施工する。
（作業は必ず２人以上の組作業とする。）

●制御装置機器組立交換

①制御装置機器組立を調達する。
②取付ネジ（＋）４本を外す
③光学系ユニット・端子板の接続線を外す
④制御装置機器組立を調達したものを交換する。
⑤光学系ユニット・端子板に配線する
⑥取付ネジ（＋）４本にて固定する。
⑦取り外した制御装置機器組立は職員に返納する。

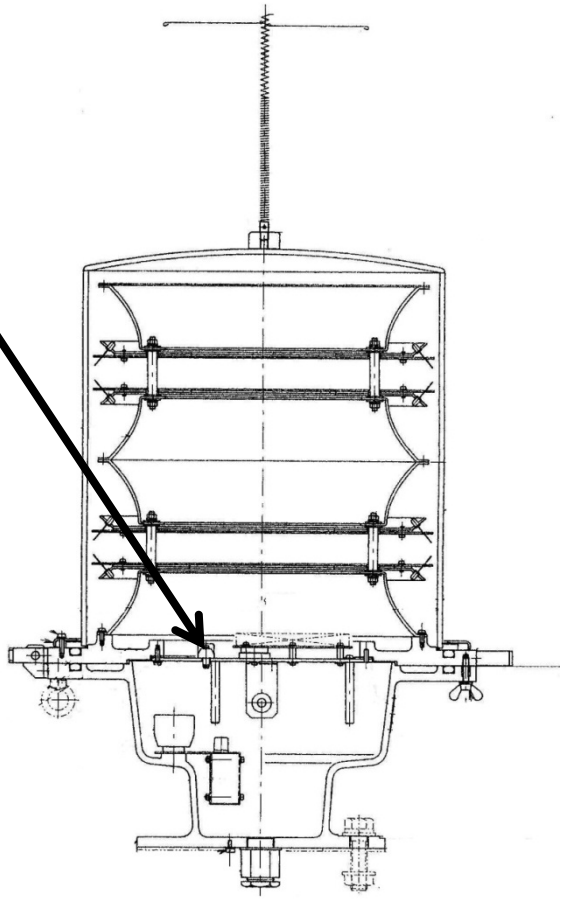
なお、電線・取付ネジは再使用とすること。

※注意事項
「制御装置機器組立」は、部品名を表す。

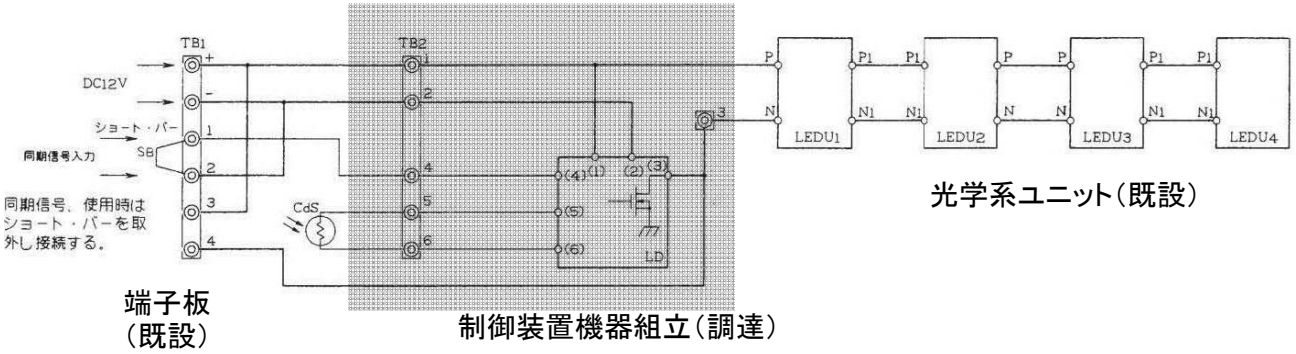


制御装置機器組立

（調達のうえ交換する）



LED浮標灯器側面図



LED浮標灯器結線図

別紙2

別表 1 官給品一覧表

別表　1

品　　目	規　　格	単位	数量	朝日礁灯浮標	丸山出シ灯浮標		官給場所
標体(L－3)		基 (番号)	2	1 (35035)	1 (45016)		名古屋港浮標基地
鉄鎖(38mm)		m	135.0	67.5	67.5		〃
水中接続具	三ツ目環32mm	房	2	1	1		〃
水中接続具	転環38mm	個	2	1	1		〃
水中接続具	接環38mm	個	18	9	9		〃
沈すい	FC10t	個	1	1	－		〃
沈すい	ｽﾗﾌﾞ10t	個	1	－	1		〃
沈すい	ｽﾗﾌﾞ4t	個	2	1	1		〃
頭標	円錘Ⅰ型	個	1	1	－		〃
頭標	円筒Ⅰ型	個	1	－	1		〃
頭標支持金具Ⅰ型		個	2	1	1		〃
レーダーレフレクター	SR6型	個	2	1	1		〃
太陽電池モジュール	2OW	面	7	4	3		〃
灯浮標ソーラーシステム端子箱	12V 3A	個	2	1	1		〃
灯浮標ソーラーシステム制御器	標準型	個	2	1	1		〃
蓄電池	MSE150AH	個	12	6	6		〃
LED浮標灯器	Ⅲ型　赤	個	1	1	－		鳥羽海上保安部
LED浮標灯器	Ⅲ型　緑	個	1	－	1		〃
同期点滅制御装置	GPS型	個	2	1	1		〃
マーキング装置		個	12	6	6		〃

官給品引渡場所

名古屋港浮標基地　　愛知県名古屋市港区東築地町28-2　　℡052-694-6799

鳥羽海上保安部交通課　　三重県鳥羽市1-2383-28鳥羽運輸総合庁舎3F　℡0599-25-2303

別表2　塗装仕様一覧表

工事件名:朝日礁灯浮標ほか1基全交換工事

標体修繕工
中心筒盲蓋塗装

	下地処理	塗装	塗装回数	塗膜厚	塗色	数量
中心筒盲蓋	-	ｱｸﾘﾙ樹脂系外舷用塗料	3回	30μ/回	赤	1個
中心筒盲蓋	-	ｱｸﾘﾙ樹脂系外舷用塗料	3回	30μ/回	緑	1個

標体塗装
喫水線記入

標識名	標体型式(番号)	塗装	塗装回数	塗膜厚	塗色
朝日礁灯浮標	L-3(35035)	ｱｸﾘﾙ樹脂系上塗り塗料	1回	30μ/回	白
丸山出シ灯浮標	L-3(45016)	ｱｸﾘﾙ樹脂系上塗り塗料	1回	30μ/回	白

標体塗装
標識名記入

標体型式(番号)	記入名	塗装	塗装回数	塗膜厚	塗色
L-3(35035)	朝日礁	ｱｸﾘﾙ樹脂系外舷用塗料	1回	30μ/回	白
L-3(45016)	丸山出シ	ｱｸﾘﾙ樹脂系外舷用塗料	1回	30μ/回	白

灯浮標等設置工
防食工　防汚塗装

標体型式(番号)	塗料	規格	塗装回数	塗膜厚	塗装面積
L-3(35035)	加水分解型	カナエポートA/F #5000MS改	3回	70μ/回	45.0㎡　3@135.0㎡
L-3(45016)			3回	70μ/回	45.0㎡　3@135.0㎡

赤：G07-40Xマンセル値7.5 R 4/14
緑：G45-40P　マンセル値5G 4/8
白：GN-95　マンセル値N 9.5
黄：G22-80Xマンセル値2.5 Y 8/14
黒：GN45-10マンセル値 N 1.0
※2013年塗料用標準色見本帳G版（社団法人 日本塗料工業会）

※塗装回数、塗膜厚については、カナエ塗料の標準仕様を参考値として示したものであり使用する塗料は事前に監督職員の承諾をえるものとする。

別表 2

別表3　資機材等取付一覧表

工事件名：朝日礁灯浮標ほか1基全交換工事

標識名	型式 （標体番号）	鉄鎖	水中接続具			沈錘	頭標、頭標取付金具	ﾚｰﾀﾞｰﾚﾌﾚｸﾀ	樹脂製鳥よけ	ピラミット型鳥除金物	中心筒盲蓋	備　考
			三ツ目環	転環	接環							
朝日礁灯浮標	L-3（35035）	φ38 67.5m	φ32 1個	φ38 1個	φ38 9個	FC 10t ｽﾗﾌﾞ 4t	円錐Ⅰ型 1個	SR型 1個	頭標取付金具 3箇所	太陽電池 ﾓｼﾞｭｰﾙ20W用 4個	1個	鉄鎖67.5mのうち5mは沈錘間
丸山出シ灯浮標	L-3（45016）	φ38 67.5m	φ32 1個	φ38 1個	φ38 9個	ｽﾗﾌﾞ10t ｽﾗﾌﾞ 4t	円筒Ⅰ型 1個	SR型 1個	頭標取付金具 3箇所	太陽電池 ﾓｼﾞｭｰﾙ20W用 3個	1個	鉄鎖67.5mのうち5mは沈錘間

○ 鉄鎖、水中接続具、沈錘 （官給）

図面のとおり設置する標体に取り付けるものとする。

○ 頭標 （官給）

頭標および頭標取付金具をナット(SUS304 M24,M27 ,SW,SN)と割ピンを使用して組み立て、標体櫓部踊り場の頭標取付座に固定するものとする。

○ 樹脂製鳥よけ （調達）

樹脂製鳥よけ材は、ﾊﾞｰﾄﾞﾚｽﾏｯﾄL600×W78×H147又は同等以上とし、所用長さは図番「6/8機器取付図、7/8頭標取付図」より算出する。

樹脂製鳥よけ材は、針金等にて取り付けるものとする。

○ ピラミッド型鳥よけ金物 （支給）

ピラミッド鳥よけ金物を太陽電池モジュール各箇所にM4ビスにて取り付けるものとする。

○ レーダーレフレクター （官給）

SR型 ： ゴムパッキン（支給）を介して付属のボルト・ナット（SUS304 M20×50,W,WN）（支給）によりの櫓部所定の位置に取付を行う。

~~コーナー型 ： ゴムパッキン（支給）を介して付属のボルト・ナット（SUS304 M12×50,W,WN）（支給）によりの櫓部所定の位置に取付を行う。~~

○ 中心筒盲蓋 （支給）

付属のボルト・ナット（SUS304 M16×35,W,SW,WN）により浮体部中心筒に取付を行う。

別表 3

別表4　設置標識一覧表

工事件名:朝日礁灯浮標ほか1基全交換工事

標識名	位置	塗色	作業区分	型式（標体番号）	鉄鎖	水中接続具			沈錘	水深（m）	潮流（kt）	海底底質	参考海図番号	備　考（設置予定日）
						三ツ目環	転環	接環						
朝日礁灯浮標	北緯:34° 34′ 05″(5.3″) 東経:137° 00′ 21″(21.4″) (WGS-70)	赤	設置	L-3 (35035)	φ38 67.5m	φ32 1個	φ38 1個	φ38 9個	FC 10t ｽﾗﾌﾞ 4t	36	2.7	岩	No. 70 No. 1051 No. 1053 No. 1054	
			引揚	L-3 (35024)	φ38 67.5m	φ32 1個	φ38 1個	φ38 9個	FC 10t FC 4t					
丸山出シ灯浮標	北緯:34° 33′ 47″(46.7″) 東経:136° 59′ 35″(34.5″) (WGS-70)	緑	設置	L-3 (45016)	φ38 67.5m	φ32 1個	φ38 1個	φ38 9個	ｽﾗﾌﾞ10t ｽﾗﾌﾞ 4t	36	2.7	岩	No. 70 No. 1051 No. 1053 No. 1054	
			引揚	L-3 (45010)	φ38 67.5m	φ32 1個	φ38 1個	φ38 9個	ｽﾗﾌﾞ10t ｽﾗﾌﾞ 4t					

別表 4

別表5 資機材等取外一覧表

工事件名:朝日礁灯浮標ほか1基全交換工事

標識名	型式 (標体番号)	鉄鎖	水中接続具			沈錘	頭標、頭標 取付金具	ﾚｰﾀﾞｰ ﾚﾌﾚｸﾀ	中心筒盲蓋	備 考
			三ツ目環	転環	接環					
朝日礁灯浮標	L-3 (35024)	φ38 67.5m	φ32 1個	φ38 1個	φ38 9個	FC 10t FC 4t	円錐Ⅰ型 1個	SR型 1個	1個	
丸山出シ灯浮標	L-3 (45010)	φ38 67.5m	φ32 1個	φ38 1個	φ38 9個	ｽﾗﾌﾞ10t ｽﾗﾌﾞ 4t	円筒Ⅰ型 1個	SR型 1個	1個	

別表 5

別表6　電気通信機器取付一覧表

工事件名：朝日礁灯浮標ほか1基全交換工事

標識名	型式 （標体番号）	LED浮標灯器	同期点滅装置	消灯警報装置	マーキング装置	灯浮標ソーラーシステム				蓄電池	備　考
						太陽電池 ﾓｼﾞｭｰﾙ	取付台	制御器	端子箱		
朝日礁灯浮標	L-3（35035）	Ⅲ型(赤)	GPS型	KFV型	本体6個 取付台6個	20W 4面	－	1個	1個	MSE150AH 6個	
丸山出シ灯浮標	L-3（45016）	Ⅲ型(緑)	GPS型	KFV型	本体6個 取付台6個	20W 3面	－	1個	1個	MSE150AH 6個	

○ LED浮標灯器 （官給）

LED浮標灯器を灯ろう取付台に付属のボルト・ナット（SUS304 M16×50,W,SW,SN）を使用して堅固に取り付けるものとする。

○ 同期点滅制御装置 （官給）

同期点滅制御装置は、標体櫓部踊り場の取付座(既設)に支給品のボルト・ナット(SUS304, M10×25, W, SW)により堅固に取り付けるものとする。

○ 消灯警報装置（KFV型）（現用品再使用）

消灯警報装置（KFV型）は、精密機器であり振動等により損傷するおそれがあるので取扱いに注意する。

アンテナ取付金具、配線類は資材整備時に取扱説明書の取扱上の注意事項を遵守して取り付を行う。

○ マーキング装置（既設取り外し、官給品取付）

マーキング装置は、あらかじめ取付台を防護枠又は取付柱に固定し、取付台に差し込み固定する。

また、接続線（官給付属）は、消灯警報装置から各マーキング装置まで踊り場支柱等に結束バンドで体裁よく固定する。

○ マーキング装置取付台 （支給）

付属のボルトナット（SUS304 M8×40,W,SW,SN）により櫓部踊り場防護枠の取付座又はマーキング取付柱に取付を行う。

○ 太陽電池モジュール （官給）

太陽電池モジュール（太陽電池取付台付属）を付属ボルト・ナット（20W用：SUS304 M8×30, W,SW,SN）を使用して、標体櫓部踊り場の太陽電池取付台座に取り付けるものとする。

○ 灯浮標ソーラーシステム制御器 （官給）

制御器を浮体内部の制御器取付座（既設）に付属ボルト・ナット（SUS304 M8×30,W,SW,SN）を使用して取り付ける。

○ 灯浮標ソーラーシステム端子箱 （官給）

端子箱を浮体内部の端子箱取付座（既設）に付属ボルト・ナット（SUS304 M8×30, W,SW,SN）を使用して取り付けるものとする。

○ 蓄電池 （官給）

①蓄電池を浮体内部の既設電池缶内に底板（ゴム）を介し1個ずつ収納し、電池押さえ蓋の高さを調整して堅固に固定するものとする。

②蓄電池は、補充電を行い電圧を確認した後、浮体内部に直列又は並列で接続で接続するものとする。

別表 6

別表7　電気通信機器取外一覧表

工事件名：朝日礁灯浮標ほか1基全交換工事

標識名	型式 （標体番号）	LED浮標灯器	同期点滅装置	消灯警報装置	マーキング装置	灯浮標ソーラーシステム				蓄電池	備　考
						太陽電池 ﾓｼﾞｭｰﾙ	取付台	制御器	端子箱		
朝日礁灯浮標	L-3 （35024）	Ⅲ型(赤）	GPS型	KFV型	本体6個 取付台6個	20W 4面	ー	1個	1個	MSE150AH 6個	
丸山出シ灯浮標	L-3 （45010）	Ⅲ型(緑）	GPS型	KFV型	本体6個 取付台6個	20W 3面	ー	1個	1個	MSE150AH 6個	

別表 7

別表8 撤去品一覧表

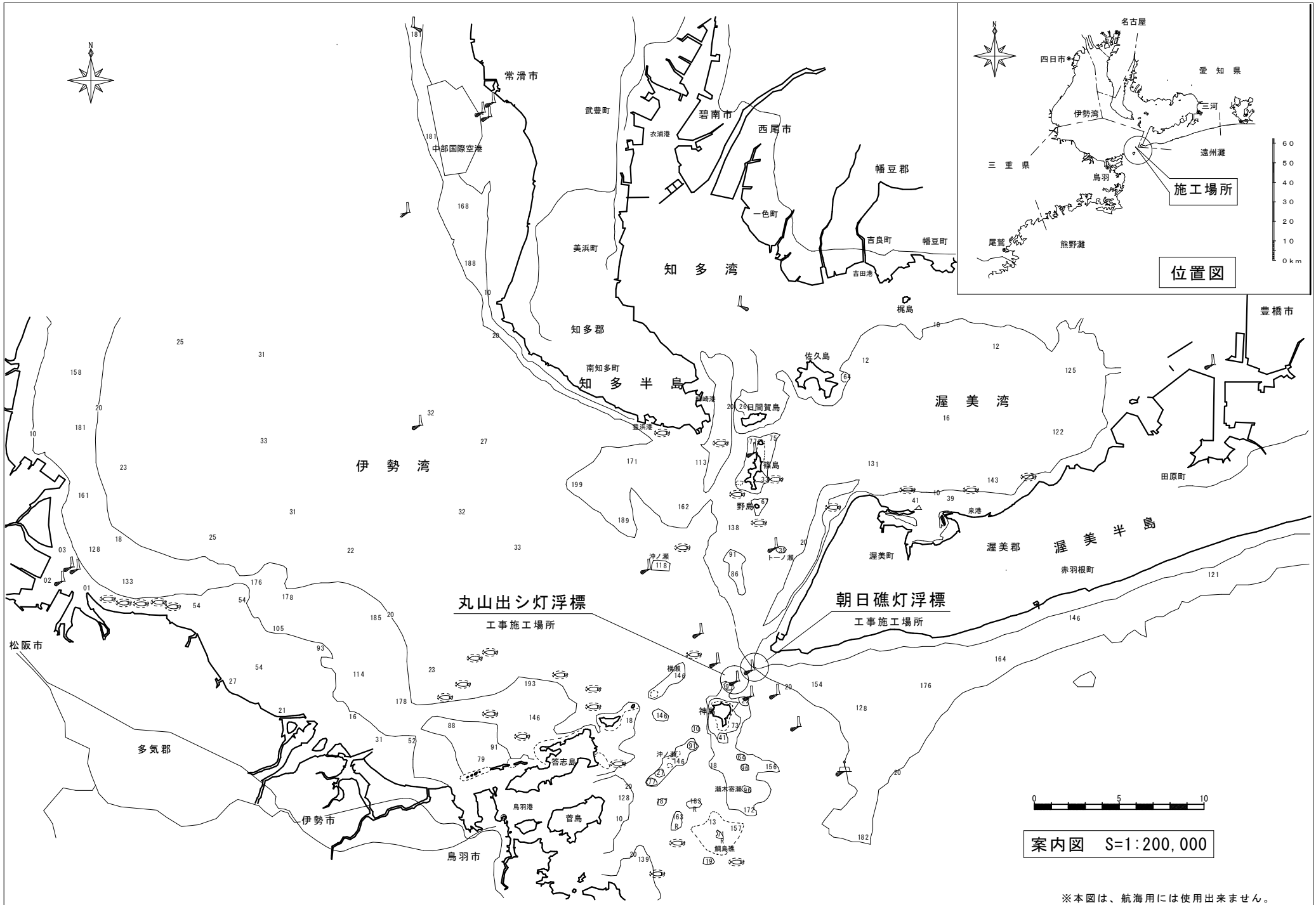
別表 8

品　　目	規　　格	単位	数量	朝日礁灯浮標	丸山出シ灯浮標		返納場所
標体(L－3)		基 (番号)	2	L-3 (35024)	L-3 (45010)		名古屋港浮標基地
鉄鎖(38mm)		m	135.0	67.5	67.5		〃
水中接続具	三ツ目環32mm	房	2	1	1		〃
水中接続具	転環38mm	個	2	1	1		〃
水中接続具	接環38mm	個	18	9	9		〃
沈すい	FC10t	個	1	1	－		〃
沈すい	FC4t	個	1	1	－		〃
沈すい	ｽﾗﾌﾞ10t	個	1	－	1		〃
沈すい	ｽﾗﾌﾞ4t	個	1	－	1		〃
頭標	円錘Ⅰ型	個	1	1	－		〃
頭標	円筒Ⅰ型	個	1	－	1		〃
頭標支持金具Ⅰ型		個	2	1	1		〃
レーダーレフレクター	SR6型	個	2	1	1		〃
太陽電池モジュール	2OW	面	7	4	3		〃
灯浮標ソーラーシステム端子箱	12V 3A	個	2	1	1		〃
灯浮標ソーラーシステム制御器	標準型	個	2	1	1		〃
蓄電池	MSE150AH	個	12	6	6		〃
LED浮標灯器	Ⅲ型　赤	個	1	1	－		鳥羽海上保安部
LED浮標灯器	Ⅲ型　緑	個	1	－	1		〃
同期点滅制御装置	GPS型	個	2	1	1		〃
マーキング装置		個	12	6	6		〃

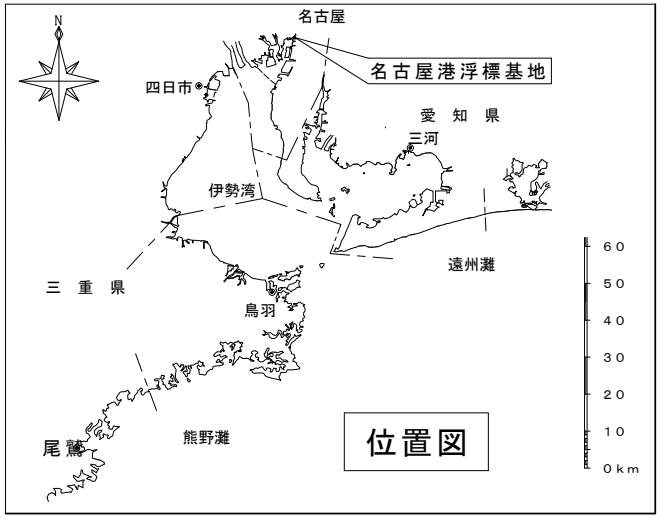
撤去品返納場所

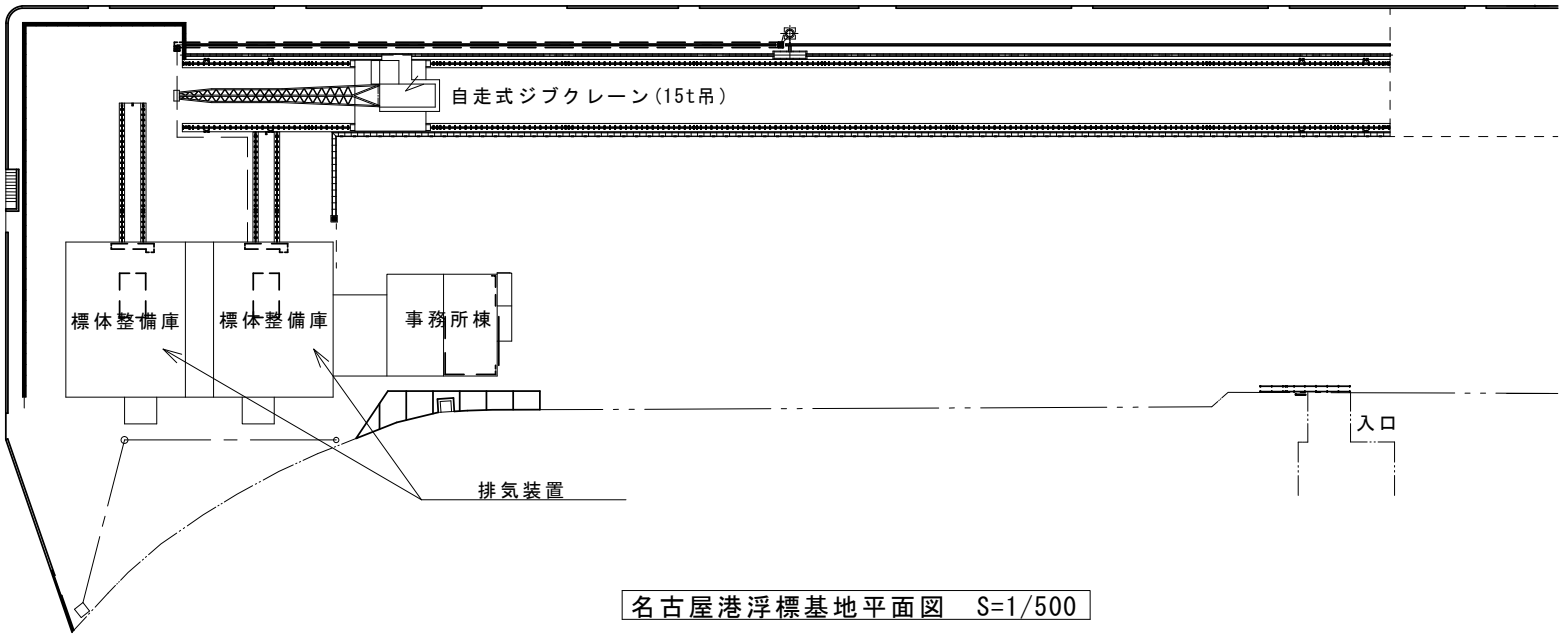
名古屋港浮標基地　　愛知県名古屋市港区東築地町28番の2　　℡052-694-6799

鳥羽海上保安部交通課　　三重県鳥羽市1-2383-28鳥羽運輸総合庁舎3F　℡0599-25-2303



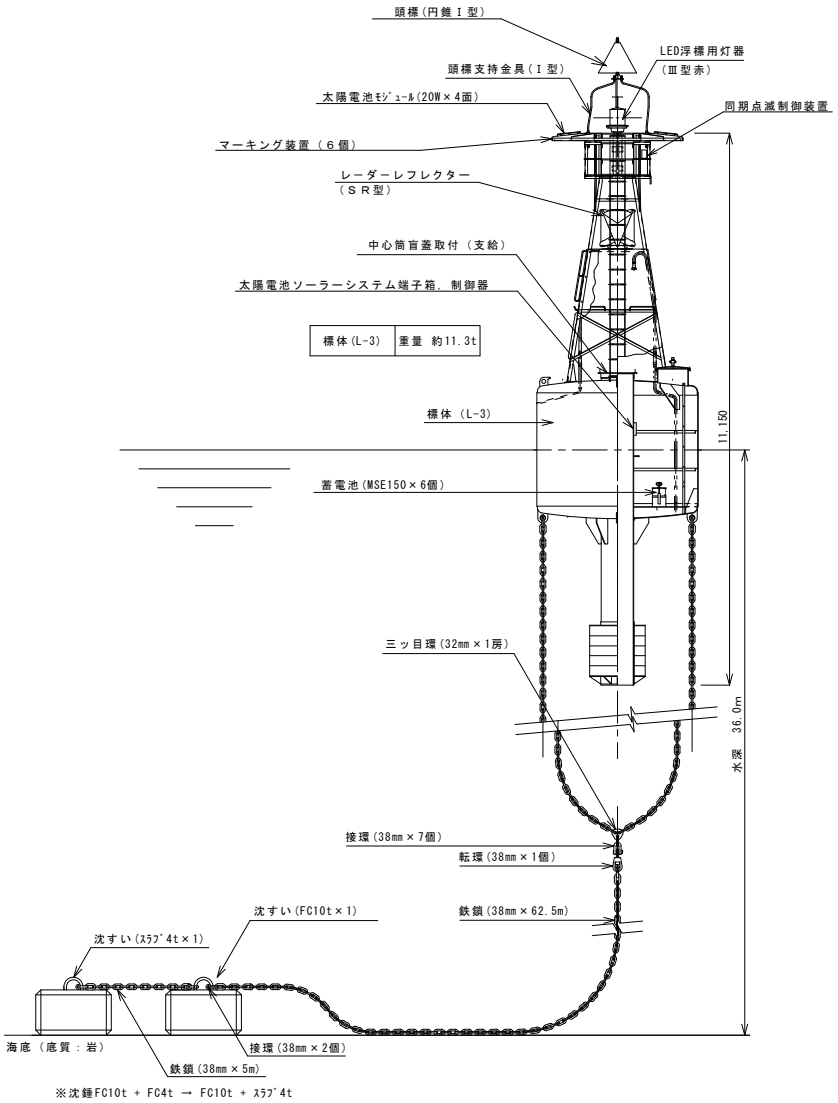
平成26年度	件名 朝日礁灯浮標ほか１基全交換工事	標識名称 共通	図番 1／6	図名 位置図・案内図	縮尺 図示 A3	第四管区海上保安本部交通部整備課



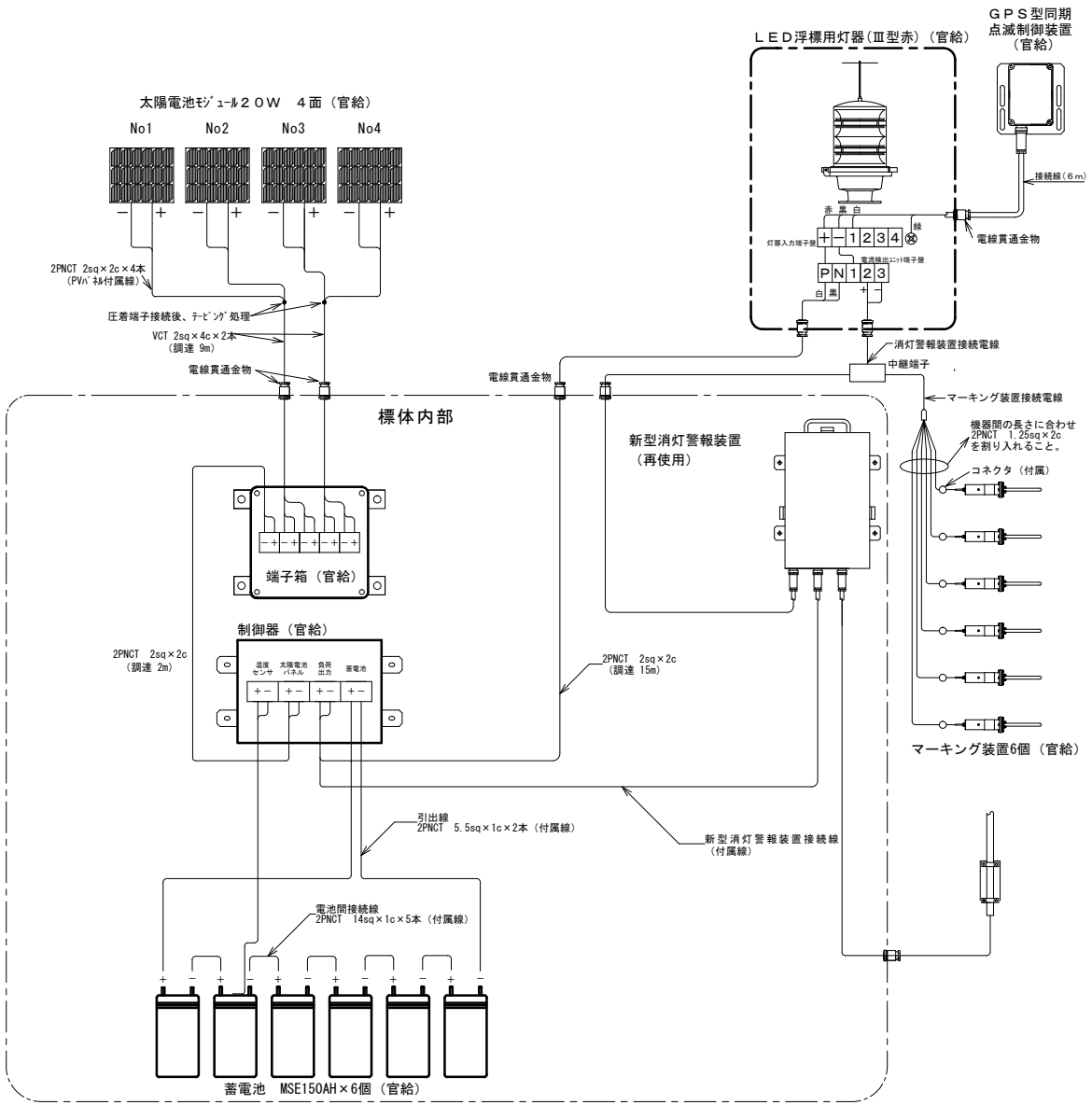


名古屋港浮標基地平面図　S=1/500

平成２６年度	件名 朝日礁灯浮標ほか１基全交換工事	標識名称 名古屋港浮標基地	図番 2／6	図名 名古屋港浮標基地平面図	縮尺 図示 A3	第四管区海上保安本部交通部 整備課	



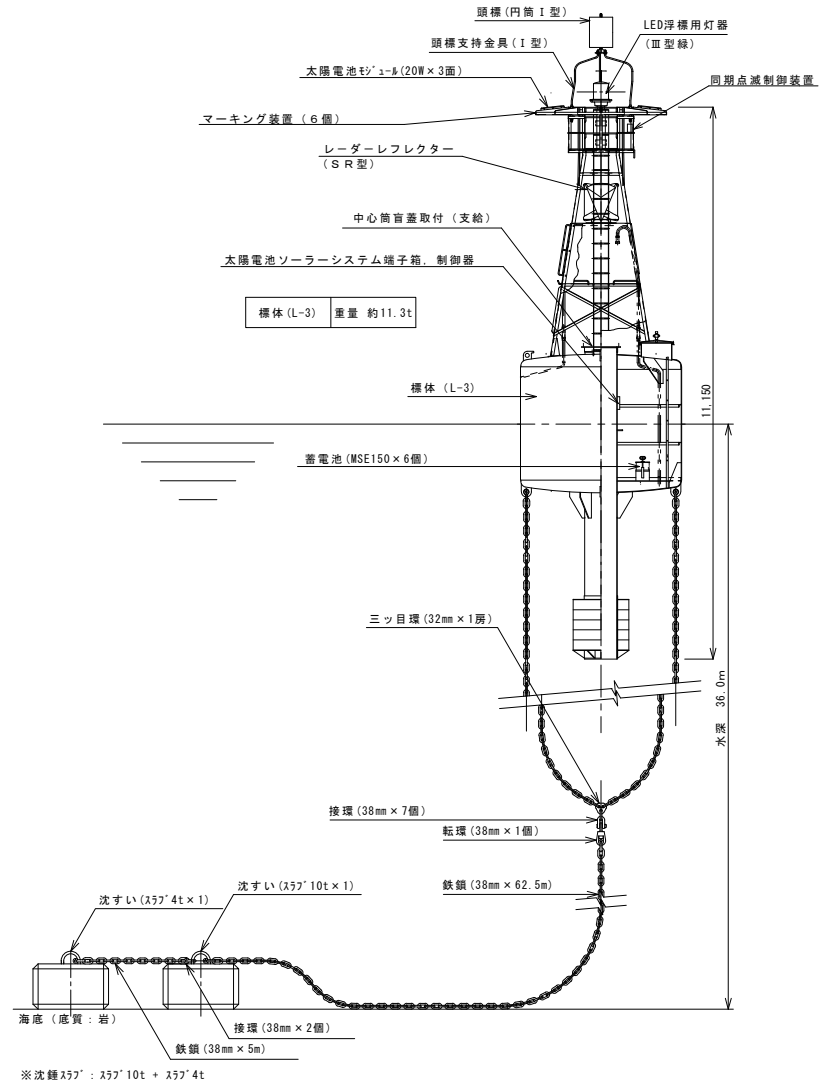
碇置図 S=1/75



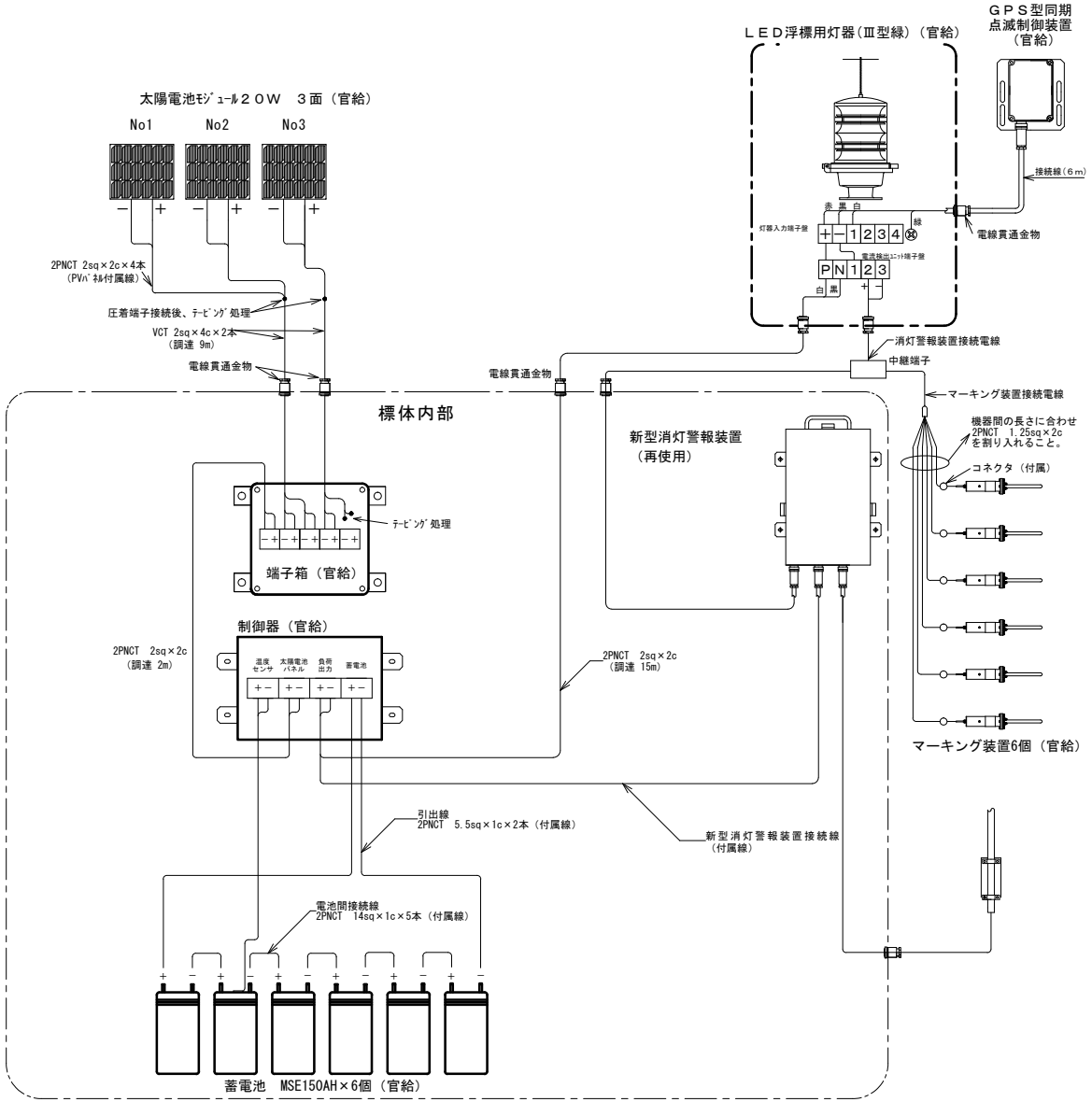
機器間配線図

各端子への接続は、ケーブルに適合する圧着端子を用いて確実に実施すること。
結線確認後、監督職員の指示に従い通電し、動作試験を実施し正常に機能すること
を確認すること。

平成２６年度	件名：朝日礁灯浮標ほか１基全交換工事	標識名称：朝日礁灯浮標	図番：3／6	図名：碇置図・機器間結線図	縮尺：図示 A2	第四管区海上保安本部交通部整備課		担当



碇置図 S=1/75

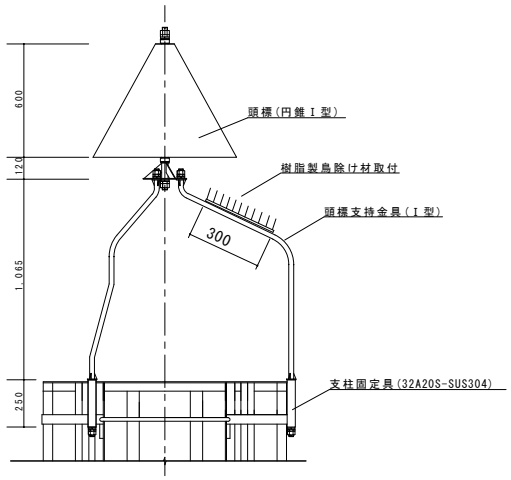


機器間配線図

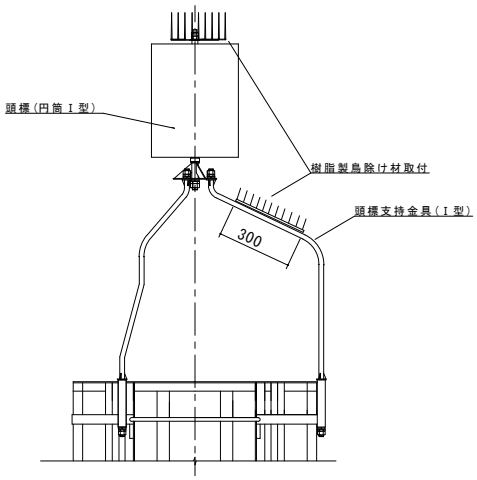
各端子への接続は、ケーブルに適合する圧着端子を用いて確実に実施すること。
結線確認後、監督職員の指示に従い通電し、動作試験を実施し正常に機能すること
を確認すること。

平成２６年度	件名: 朝日礁灯浮標ほか１基全交換工事	標識名称: 丸山出シ灯浮標	図番: 4／6	図名: 碇置図・機器間結線図	縮尺: 図示 A2	第四管区海上保安本部交通部整備課		担当

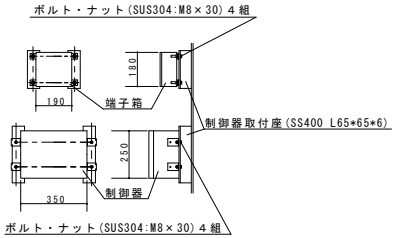
頭標（右げん標識用）取付図　S=1:20



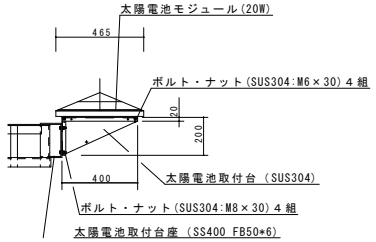
頭標（左げん標識用）取付図　S=1:20



制御器・端子箱取付図　S=1:20

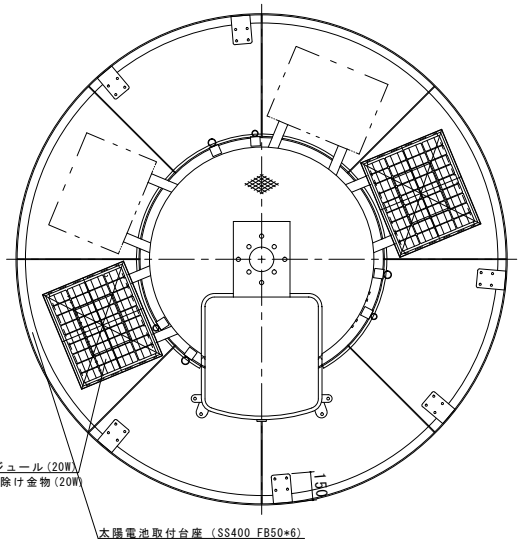


太陽電池モジュール（20W）取付図　S=1:20

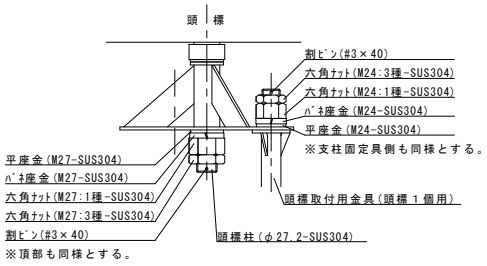


太陽電池モジュール（20W）取付平面図　S=1:20

※太陽電池モジュール(20W)の取付数量は、特記仕様書による。

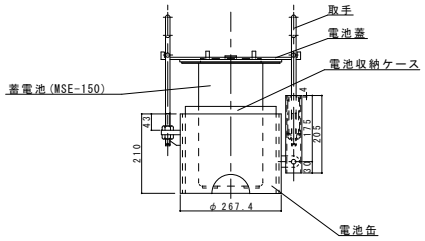


頭標取付詳細図　S=1:5

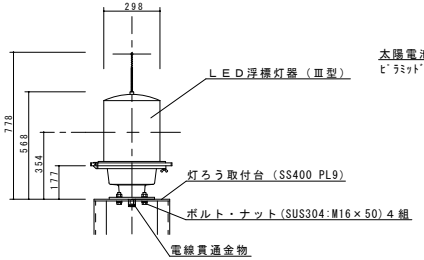


蓄電池取付図　S=1:10

※蓄電池の取付数量は、特記仕様書による。



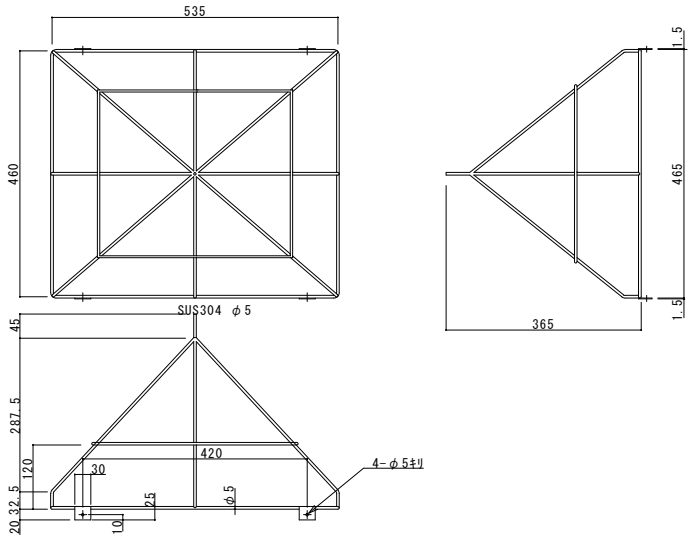
ＬＥＤ浮標灯器（Ⅲ型）取付図　S=1:20



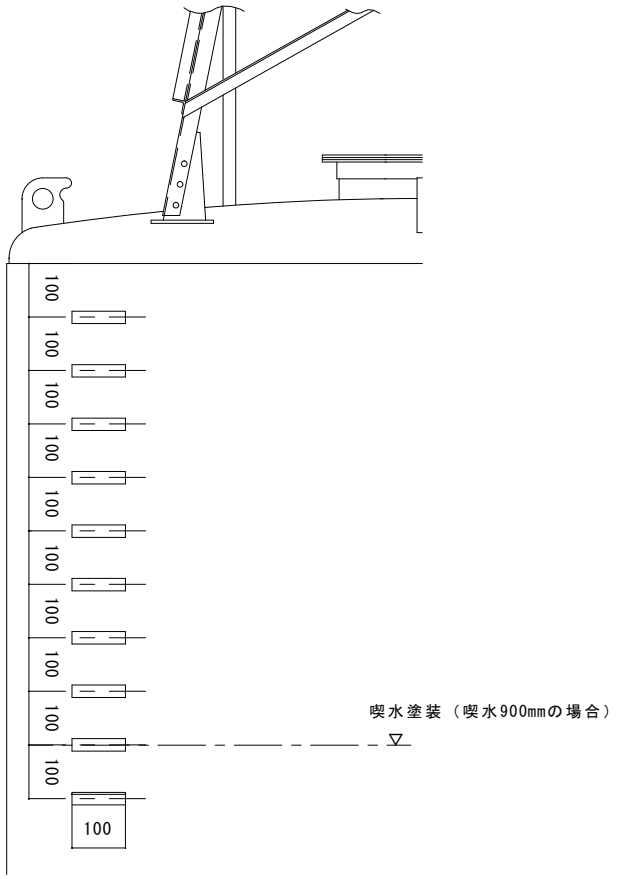
平成２６年度	件　名 朝日礁灯浮標ほか１基全交換工事	標識名称 共通	図番 5／6	図名 機器取付図（各種）	縮尺 図示 A2	第四管区海上保安本部交通部整備課	担当

ピラミッド型鳥除金物 20W用（支給品）　S＝１：１０

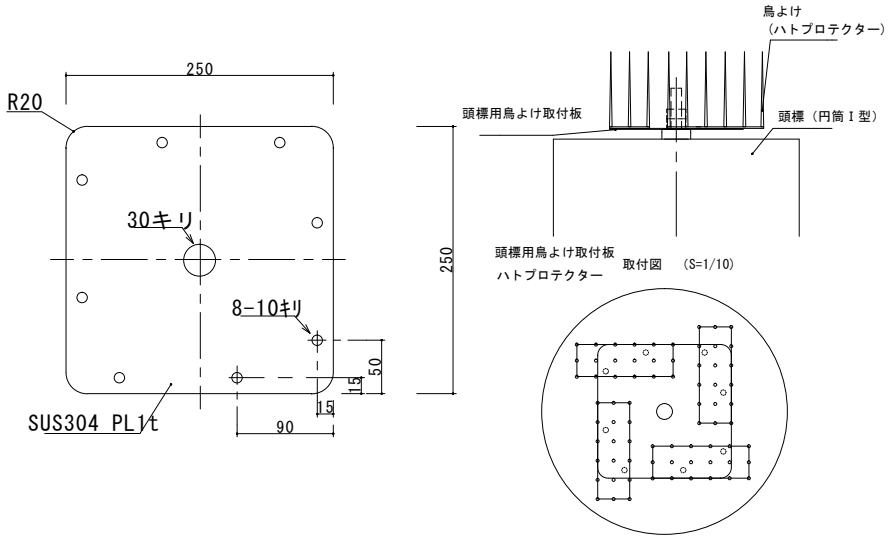
※材質：SUS304



塗装幅　標示線10mm　S＝１：１０

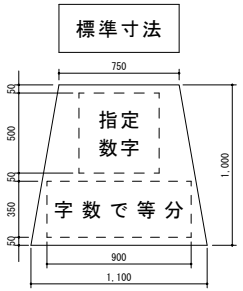


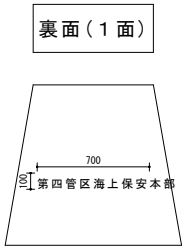
頭標用鳥除け詳細（調達）　S＝１：５



標識名記入要領

標体番号	記　入　名	備　考
３５０３５	朝日礁	３面邦字
４５０１６	丸山出シ	３面邦字





平成２６年度	件名 朝日礁灯浮標ほか１基全交換工事	標識名称 共通	図番 6／6	図名 ピラミッド型鳥除金物、塗装幅（喫水線）頭標用鳥除け詳細図	縮尺 図示 A3	第四管区海上保安本部交通部整備課